

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
 TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
 ■会長：小高 徹 幹事：高山 義則
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 高野 祐二・会報担当 石田 英世

2023年3月15日(水)
第24巻第 30号

通巻第1017号

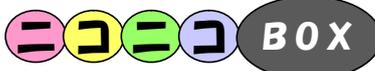
<http://www.oamirotary.com>
 E-mail : rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 小高 徹
 ソング 手に手つないで
 会長挨拶 会長 小高 徹
 幹事報告 幹事 高山 義則
 プログラム

- ①奨学金授与式 ニルシカ様
- ②茂原中央RC 会長 武田大輔様他3名
- ③卓話 真北 晋様
「歴史上の女性天皇について」



無し

例会日	3月8日	2月21日
会員数	31	31
出席	15	16
欠席	16	15
M U	0	0
免除	6	8
出席率	67.74%	77.42%

会長挨拶

会長所要の為、高山幹事代読



皆さん、こんにちは。

今週に入りましてから、暖かい穏やかな日が続いております。

桜の便りもちらほらと、例年より開花予想が1週間ほど早まり、関東地方は2週間後の22日～24日頃、満開となる予想が出ています。

3月29日予定しております、花見移動例会の日まで、桜の花びらが残っていただけます様に願うばかりです。

さて、本日は、私事ではありますが、千葉県内の自動車整備工場（2,300工場）の組合員で設立いたしました、「千葉県自動車大学校」の卒業式に参列するため、例会欠席となります。誠に申し訳ありません。

また、本日は、クラブ協議会と致しましたが、会長不在でのクラブ協議会となりますので宜しくお願い致します。以上会長あいさつと致します。

クラブ協議会

進行 星野副幹事

< 議 題 >



1. パキスタン洪水救援基金のご協力について、地区を通じて救援の依頼がありました。クラブ対応としては、昨年、大網ロータリークラブの救援金は0円でした。この度のパキスタン洪水救援基金のクラブ対応においては賛成にて可決しました。

会員数（31名）×1,000円=31,000円（クラブ負担）

2. トルコ・シリア大地震災害救援基金・義援金のご協力について地区を通じて救援の依頼がありました。クラブ対応としては今回の被災状況を鑑みて、継続的な救済援助が必要かと思われま。

賛成にて可決しました。

会員数（31名）×1,000円=31,000円（クラブ負担）

3. 2023-2024年度、地区補助金の利用について

本年度、地区補助金を利用して、社会奉仕活動を行なって行きたいと思っています。2023-2024年度に限り、30万円の年度額から60万円まで引き上げられました。締め切り期日は、3月31日までとなっております。地域に密着した奉仕活動を行ないたいと思います。何か良いご提案がありましたら、会長、幹事までお願い致します。

地区研修・協議会開催

日時：2023年4月29日（土・祝）

9：00 登録開始 10：00 点鐘

場所：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
プログラム

第一部 本会議（全体会議）10：00～

第二部 部会別協議会 13：00～

※部会にて閉会

開催部会：会長部会 / 幹事部会

研修部会（理念・ロータリー情報研修・R L I）
管理運営部会（DEI・会員増強・広報共
・フェロシップ・MyRotary）

奉仕プロジェクト部会（職業・社会・国際・
青少年奉仕・環境）

青少年プロジェクト部会・RAC 部会（インター
・アクト・青少年交換・RYLA・RAC）

ロータリー財団部会/米山記念奨学会部会
（出席者）

●会長部会 / 大越 将司 会員

●幹事部会 / 星野 実 会員

●研修部会 / 齋藤 幸男 会員

堀本 孝雄 会員

●管理運営部会 / 泉 恵子 会員

小倉 光夫 会員

吉原 久男 会員

石田 英世 会員

●奉仕プロジェクト部会

矢部 慎一 会員・西岡 毅 会員

関谷 清一 会員

●青少年プロジェクト部会

清宮 満巖 会員・高山 義則 会員

●ロータリー財団部会

清宮 建治 会員・小高 徹 会員

高野 祐二 会員

●米山記念奨学会部会

佐藤 廣子 会員 17名参加予定

3/11(土)米山記念奨学生終了式



佐藤カウンセラー・ニルシカ様

3/4(土)開催 環境セミナー



出席者：高山幹事

< 地区補助金実績表 >

第7グループ	茂原	①日本さくら名所 100 選の茂原公園にある老朽化したベンチの補修・修繕 ②茂原市内全中学校へ電子ピアノの寄贈 ③火災死者負傷者ゼロ都市 茂原を創るプロジェクト ④新型コロナウイルス感染拡大防止に繋げる為の体温測定器寄贈と講演会実施
	東金	カンボジア・スマオン小学校教室 屋根修理
	大原	①JR 大原イルミネーション設置事業 ②大原高校応援団長の製作（ゆるキャラ）
	大多喜	
	成田空港南	被災地復興支援チャリティーコンサート
	茂原東	
	茂原中央	①茂原公園運動広場への電波時計設置プロジェクト ②長生郡内町村 交通安全指導員用機材提供&安全指導プロジェクト ③茂原市避難所への非常用発電機材の提供とその運用方法の共有 ④長生郡及び夷隅郡避難所への災害時非常用発電機材の提供とその運用方法の共有
	大網	大網病院入口バス停 新設工事
	東金ビュー	

4. スリランカ食料支援についてこれからどの様に支援していくか？

現在、大網ロータリークラブは、クラブ会員を中心に、スリランカの食糧支援を続けてまいりました。本年度も昨年同様、コスモス支援活動を行なっている鈴木先生を通じ、クラブ会員のご支援を頂きながら食料支援活動を行なっています。次年度に於いてクラブ活動としてこの先も同様に支援活動を行なっていくかをご回答頂きたいと思ひます。

（支援する・協力する・頼まれればする・協力しない・支援しない）

支援を継続（奉仕プロジェクト委員会が担当します。）

5. 今後のロータリー財団の個人寄付の在り方

現在、ロータリー財団への寄付金は、あなたも、毎年個人（150ドル）、ポリオプラス基金個人（30ドル）の呼びかけです。当クラブも、毎年財団への寄付金は行っておりますが、2790地区財団寄付においては、すべてクリアしているクラブは、過半数を下回っている状況かと思ひます。この様な中、これからどう財団の寄付金を捻出して行くかを皆さんで議論して頂きたいと思ひます。

（クラブ会費とは別に財団費として徴収・個人寄付に関してこれからも行う・その他）

ロータリー財団（TRF）への寄付は世界中のロータリーの奉仕活動の資金となっています。ロータリー財団（TRF）への寄付は、全く知らない団体にお金をあげるのではなく、我々が属している「ロータリー」の活動の支援に使われるお金です。皆様の年次基金への寄付が巡り巡ってどこかのクラブの、或は皆様のクラブの活動の補助金として役立てられるのです。つまり、我々が資金を出し合って我々の活動の為に使う資金です。英語では「Contribution＝寄与や Gift＝贈り物」という言葉が使われます。

2022-23年度 ロータリー財団 ハンドブックより